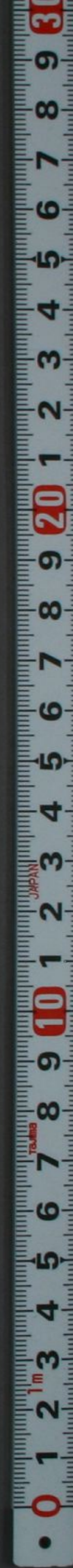


信州富岡旅記  
オオルス氏



114  
A 989



信州富岡への旅記

先般亦國公使ニ依頼シ、通旨免状ヲ受ケ、横濱ヨ  
リ信州富岡ニ旅行シ、同所ニ四日ヲ費シ、其近傍  
ヲ探索シタリ、故ニ諸國歴ヲ遊スルモノ、斯様ナ  
ル旅行ニテ見聞スル所ノ者ハ、隨分肝要ナ事ニ  
ト思慮シタレハ、余ハ自ラ知見ノ不充分ナルハ  
固リ不疑ト雖モ、今此ニ記載ス、余ハ中仙道ヲ通  
リシニ、其近傍ノ段富ナル属目スヘキ所ニシテ、  
繁昌ナル市村、屢々道側ニ在リ、旅人モ多ク通行  
シ、或ハ高賣品ヲ荷載シタリ、人ヲモ見レハ、其土

大正十一年四月  
隈侯爵邸寄贈

信州富岡

信州富岡

産ノ多キ證ナラン、  
 富岡辺ノ重ナル土産ハ、生糸、烟草、麻、及ヒ茶ナリ、  
 東京ニ迎接シテハ、米、綿、及ヒ麦ナリ、氣候、地味ハ、  
 妙ニ耕作ニ適當シ、同一ノ地質ニテ、斯ク高貴ナ  
 ル物産ノ致種類ヲ生スル處ハ、谷洲中甚々稀レ  
 ナルヘシ、此景況ヲ以テハ、何人モ富貴開化ノ地  
 ニ進ミ、最巧ナル耕作ヲ得ント望ムニ、其土地ニ  
 於テハ、然ルヲ得ス、其人民ハ、親懇正直ニシテ、何  
 國ニテモ、旅人ノ斯ク懇親ヲ得テ、障害ヲ受ケ  
 サルナハ、稀ナリ、余ハ其人民ニ行状ヲ愛シタレ

ハ、彼等ノ活計上ニ於テ、別ニ良法ヲ得ルハ、真ニ  
 其ノ所ナリ、然ルニ余ハ此事ニ於テハ、大ニ失望  
 セシ、  
 彼等ノ住家ハ、殆ント土地ノ規則ノ如ク、不愉快  
 ナ極メ、建築ニ至テ、實ニ粗慥ナルハ、其人民ノ貧  
 窮、或ハ愚ナルヲ頭ス證ナリ、  
 生糸ノ紡キ方、サヘモ、實ニ粗慥ナル方法ヲ以テ  
 シ、明精ナル品ヲ得ルヲアルハ、却テ驚クニ堪タ  
 リ、是レ塵汗混雜ノ中ニテ成セシモノナリ、其他  
 ノ産物モ、多クハ市場ニ出賣捌カントスル品

ナレニ、些モ念モ入ラス而テ損害ヲ避ケン為  
ムニ、品物ヲ貯スル倉庫ノヨキ者稀ナリ、是等ノ  
訣ヲ以テ農夫ハ、産物ヲ直賣ニセスンハナラズ、  
而シテ土地人民ノ風習トナリシト明クナリ、是  
レ相場師ヲ惠ムノ法ニ帰ス、  
烟草ハ各村々ニ生シ、元来良品ト見テ然レトモ  
之ヲ乾カス方法ハ、粗糙ニシテ濕氣アリ、且ツ不  
齊、氣候ニ於テハ、上品ヲ得ルト難シ、  
本烟草ヲ外國ニ輸出スル時ハ、其品柄ニ在テ、  
大ニ損害ヲ生スルハ、蓋シ右ニ述テ所以ニ登

クナラズ、  
亦ノ上品ヲ産スルハ、甚タ容易ニシテ、何レノ處  
ニ生スルト見ヘタリ、是麻ハ、何クモ繁茂シ、  
大概ノ農夫ハ、何程カ其木ヲ種ユ、而シテ生長ノ  
後、皮ヲ剝キ水ニ漬シ、許多ノ勞ヲ費シ、清淨ノ麻  
ヲ生ズ、然レドモ其價ノ高貴ナルヲ以テ、船綱或  
ハ他ノ普通ノ用ニハ適當セザルナリ、余聞ク其  
麻ハ繩ニ用ユルトナレバ、繩ハ必高價ナラサル  
ヲ得ズ、却テ鹿蹄ナル麻ニテ作ルヨリモ、實驗上  
ニ於テ不便ナルト必セリ、製法ヲ以テハ、織物ノ

為ニ、大量ヲ用ユルニ不能  
 若シ是麻ヲ歐羅巴ノ製、如クシ、少シ劣リタル  
 麻ヲ得レバ、價ハ大ニ減少シ、且ツ輸出ノ為ニ、大  
 ニ消却シ、生産ノ分量モ隨テ増加シ、而シテ農夫  
 ハ、多分當今ヨリモ、多クノ利益ヲ得ルナラシ  
 綿ハ諸處ニ繁生シ、良品ト見ユ、而シテ製成ノ後  
 ハ、清淨潔白ナルヲ明了ナリ、然レドモ、亦小仕撰  
 ニ、諸事器械ヲ用ヒサル故無益ノ勞ヲ費シ、終  
 ニハ相當ナク、價ヨリト騰貴ニ至ルナリ、  
 茶ハ大抵田畝ノ傍側ニ植ヘ、樹ニハ小茶園ヲ見

ンナリ、茶葉ハ大抵近傍ニ用ユル所ナラシ、  
 其輸出ヲ為シ、用意スル方法見ヘサレバナリ、  
 生、是ノ高貴ナル物産ニ付テハ、我輩ノ評説ニ  
 及ハサル所ナリ、則チ富国ニハ政府ニ於テ建築  
 セル廣大美麗ナル蒸氣ヲ用ユルノ製造場アリ  
 テ、是ノ物品ヲ改正スル企望判然タリ、  
 製造場ノ順序精密ナルト、農夫等ノ脆體ヲ  
 製法トハ、區別著ルシ、  
 余富国ニ於テ聞クニ、是ノ蒸氣ヲ用ユル生糸製  
 造場ハ、政府ニ利益無シト然レドモ、熟考スルニ

其損失ハ國人ノ製法ヲ鍊熟スルニ隨テ漸ク逐  
テ多ク上品ノ生絲ヲ輸出シ、竟ニハ價ヲニシル  
ト知覺セリ、

葡萄酒ノ一、是ノ土地ノ小山ハ、葡萄酒ヲ繁殖スル  
ニ適當ナルニ、近辺ニ葡萄酒園ノ無キハ、驚ベヌナ  
リ、元來火山質ノアル地味ハ之ニ適宜ナル者  
ニシテ、「歐羅巴」ニ於テハ、斯ノ如キ地ヲ用ユ、然レ  
ド、日本ニ於テハ、葡萄酒ヲ耕作スルヲ知ラス、亦  
穀ヲ以テ作タル下質ノ酒ヲシ、其レガ為メ  
多クノ穀ヲ賣ス、已ナラズ、乃チ健康ヲ保テ、且

ツ酪酎タルニシテ、ナキ葡萄酒ヲ用ユ、  
葡萄酒ノ賣ヲ以テ、酒ヲ作ル國ニ於テハ、葡萄酒ヲ  
耕作ハ、廣大ノ利益アリ、既ニ佛蘭西國ニハ、葡萄  
園ハ富有ナル源由ノ一、大物タリ、日本ニ於テモ  
葡萄酒園アレバ、同様ニナルト容易ナリ、  
地ノ耕作ハ至ラザル所ナク、農夫ノ勉強スル風  
習ハ、則チ其田畝ノ程能ク乾キ且ツ奇麗ナルヲ  
以テ明瞭タリ、然レトモ秋冬ノ植付ノ為メニ、其  
土地ヲ穿ツニ三寸許リ、上皮ヲ穿ツノモニテ、其  
下ニハ全ク觸ラザルハ、農夫ノ用エル機械ノ麓

ナルヲ、且ツ耕作ノ為メニ畜ユル牛馬ノ少キ一  
ニ因ルナリ、而シテ是迄ヨリ深ク耕サバ収納ノ  
高ハ定テ増加スルナラン、

余評論セシ所ハ、其地ニ天然ノ肥沃ヲ占メ物産  
ノ多キヲ以テ、適當ノ種物ニ苦心シテ耕サンメ  
ントス、然ルニ土地ノ人民ハ漠然省テス、毫事  
物ヲ發起スルノ念無シ、故ニ一種ノ法ヲ以テ漬  
勸ヲシムルヲ肝要ナリ、歐米ニ於テ右ノ如キ天  
恵テレバ、土地ノ人民ハ誇ルベキ繁栄ヲ興シ、家  
屋衣服道路等ヲ清潔ニシ、人々健康ヲ得ントシ

テ、必ス是ヲ遂ケンナラン、此國ハ、人民貧弱ニシ  
テ、其富貴ヲラント思ハレ、ハ、必ス子孫ニア  
テ、各村各家小童許多アリ、而テ撫育ノ心勞ヲ  
受ケ人、且ツ日々生産ノ道ハ不知モノ、如クシ  
テ暉々タルノミ、

斯ク萬物ニ天然ノ美アリテ、人民ノ斯ク貧窮ナ  
ル源由ヲ考フルニ、人民ノ世間ノ理ヲ通知シ、  
ルニ堅シ、加ユルニ道路ノ不便ヨリ生スル者ナ  
ス、其知識ヲ廣ムルニ、憤勵アルハ、各村ニ官立學  
校アリ、各市ニ許多ノ學校アリ、生徒ノ充分ナル

ラ以テ知ルヘシ、而テ是誠ケアルハ實ニ喜フ  
ベキニシテ、今ノ子孫等ハ他日其親父ノ充分セ  
シテハ、不充分トシ、生道ノ上等ニ住スルノ法ヲ  
勉メテト余ハ前見セリ、又道路ヲ改正セ  
スルノ起業アリ、中山道ハ通例適宜ノ官道ニシ  
テ各所修復ヲ加エルト雖、速ニ落成ノ期ナケレ  
バ却テ不便利ナラン、其道路半ハ、成切シ、新ニ  
小瓦ヲ堆積シタル所ハ、稍乾キタレ、虽石ハ圓石  
ノ地面ニ及々然タリ、但来リ人力車押車等  
ノ輪ニ、其石ヲ鞣籍シ、日ヲススシテ直ニ惡路

ニ復ス、此ケレハ、巨額ヲ費セシ、修復ヲ加ヘザ  
ル、甘切無キナリ、然レバ最初ニ割石ヲ以テ能  
ク道路ヲ修復セバ、永久ニ至リ却テ廉價トナル  
夫レ都府ノ衝衢スラ、運輸ノ方法ハ見レニ忍ヒ  
サルアリ、物産ハ馬背或ハ押車ヲ以テ運送シ、每  
馬必ス馬丁アリ、押車ハ二人ヲ要シテ通例米三  
俵ヲ荷フ、是荷物ヲ以テ壹時間ニ、九十里ヲ運  
ス、五六月間、一日ヲ以テ十里ナレハ、其賃錢  
ハ九五十錢ナリ、乃チ米一石ヲ百里外ニ運シト  
セハ、九五圓ノ賃ナリ、而シテ一週間ヲ要スルナ

卷之三



ラシ、尚家屋建築ニ用ユル石ノ類、或ハ田畝ノ肥  
糞モ、同シク費用ヲ多クス、

是レ他ナシ、農夫ノ貧窮且ツ開化ヲ解セサルニ  
因テ如此時日ヲ耗シ、費用ヲ要セリ、蓋シ此運輸  
ノ法ヲ以テセハ誰カ巨多ノ物産ヲ生スルヲ欲  
センヤ、或ハ喫緊ノ品ニ非ラサル外、敢テ之ヲ  
遠キニ致サ、ルヘシ、而シテ人々自若ナシテ憤  
心タルモノナシ、人民ノ不繁昌不開化ハ怪ムニ  
可キナルナリ  
土地ノ系、及ビ尋常ノ物品、或ハ善貴ノモノト

雖、人民、通商ハ村内止リ、適々世々貿易スル  
ハ、之ヲ無キ者ノ如ク、シテ或ハ綿織、或ハ草ヲ  
造キニ換シ賣却セントシ、或ハ他ヨリ其佳屋及  
ハ田畝ノ必要ナル物ヲ得ントセハ、費用極テ敷  
シキト必セリ、故ニ今運輸ノ方法ヲ改正セハ、人  
民ニ惠スルニ善良ノ學校ヲ設立スルニ勝ルナ  
ラシ、何トナレハ自然人民ヲシテ勉勵スルノ心  
ヲ興カシメ、然レ後彼自ラ教育ヲ求ムルニ至レ  
ハナリ、而シテ皆其土地ノ物品ヲ精練シ、終ニハ  
當今ノ不快不潔ヲ除クナリ、因テ試ニ其運輸

ノ方法ヲ改正スルヲ述ニ然ルニ余カ旅行ノ知  
見ヲ以テ考フルニ、蒸車ノ鐵路ヲ設クルハ、現今  
存在スル商業ヲ以テハ、所費過多トナリ、而シテ  
蒸車ヲ設ケ利ヲ得ルニ至ルハ、恐ク長久ヲ期  
スヘシ、尚今日ノ景況ニ隨ヒ、格別ノ迅速ハ未メ  
要セサル所ニシテ、其土地ハ人民ハ、便宜ハ運輸  
ヲナハ、満足セン、然レトモ其土地ハ、氣象ノ鐵路ヲ  
以テ、適當セリ、

東京ト高崎ノ間ハ、機ヲ、ハク、ニ、雄所、ニ、只  
而三ノ短橋ヲ作テ、足ル利根川ハ、田ニ仍リ、小船

通行スベシ、其所用ノ土地モ、今ノ廉價ニラニ  
トシハ、故、蒸車、鉄、ヲ、巨額ニ、ラス、  
余考フルニ、今、單一ナル、鐵路、線、ヲ、作ル、肝、要、ナ  
シ、而シテ、輕キ、荷車、ヲ、運送、セシムル、其、費用、  
甚ク、少ナク、且ツ、其、用品、ハ、日本、ニ、テ、容易、ニ、製造  
シ、得ル、ナリ、然レハ、駟、載、ノ、馬、ヲ、シテ、轉、シテ、車、ヲ  
曳、カシメ、バ、線、路、ニ、ハ、外國、人、ヲ、用ユ、ニ、不、及、高  
兩、馬、ヲ、以テ、車、ヲ、曳、カシムル、時、ハ、馬、背、或、ハ、押、車  
ニ、テ、十、時間、ニ、行ク、里、數、ノ、十、倍、モ、立、待、間、ニ、行  
ヘシ、而シテ、處々ニ、替、馬、ヲ、置ク、時、ハ、東京、ヨリ、高

崎へハ一日ヲ経ズシテ達セン

斯道路ヲ造立スルハ、割合ニ費用少ナク、其

行フニ便ニシテ、大ニ荷物運輸ノ便宜ヲ得、旅客

ヲ増シ、洪益アル高業ト思フノミ

然レ時ハ近傍ノ土地直ニ價ヲ増シ、而シテ農夫

ノ物産及ヒ製造ノ諸般モ、價ヲ生スルノ效驗ヲ

顕シ、速ニ便利ヲ發見セン

又ノ鉄路線ヲ作クルニ、時未タ至ラストセハ、

尋常ハ堅固ナル道ヲセリ、ハラン、ハ谷易、運轉

ハセシメテ、可ナク、何トシ、ハ一馬、一車ヲ被キ

過スルモ其背ニテ車、スルニ、ハ、四五

倍、ル、ミナテズ、廣、賈ニ、テ、且、ン、速、カ、レ、ハ

余ノ旅行ハ二人拽ノ人力車ヲ以テ、一、日、一、日、

二里ヲ行キタリ、是法ハ昔シ日本ニ、一、流、行、セ、シ

者ヨリモ、大ニ便ナレドモ、道路ノ凸凹アリ、或ハ

雨天ノ泥塗ナレハ、愉快ノ運具ニアラザルナリ、

人力車ニ大害アリ、所以ハ、國中ノ最強壯モトノ

マ、ナル人々ノ健康ヲ損スルヲ不少トス、此、

タル太夕筋骨ヲ勞シ、二日ヲ連子服役スル能ハ

サルナリ而シテ時間ヲ無益ニ費シ、所得ノ金ヲ  
 叨ニ散シ終ニハ衰弱シテ不適當ノ者ト成  
 リ、  
 余聞クニ此業ヲ長久スル者無シト思ヘ全ク暫  
 時ノ業ニシテ速ニ入ヲ傷ヒ、通例ノ職業ダモ、操  
 ル能ハサルニ至ル、而シテ旅人ノ為ニハ簡便ト  
 雖モ、斯ク流行シテ已マサレハ、不幸モ亦ニナリ、  
 尚モ國家ノ為ニ謀レハ、斯害アル旅行ノ一種ヲ  
 除ク、良法ヲ設立シ、國境ノ凶壯ナル輩ヲ  
 貴重ノ業ニ服  
 至スル所ナリ

續濱

千八百七十四年

第十一月

トーマス、ウオルズ

謹言

普地事務后